

# STREET RENOVATION

## 御堂筋における道路空間再編と沿道エリアの活性化

大阪市では、御堂筋の道路空間再編に向けて、側道部分を活用して自転車通行空間を確保するとともに、歩道を拡張するモデル整備を実施してきました。

また、昨年度実施した「御堂筋完成 80 周年記念事業」では、公民で組織した御堂筋完成 80 周年記念事業推進委員会として、御堂筋を全面人中心の空間へ転換していくといった「御堂筋将来ビジョン」を打ち出しています。ビジョン策定にあたっては、IoT やビッグデータなど、ICT 活用による情報ネットワークの構築・サービスの提供についても検討されてきました。

日建設計総合研究所は、日建グループ各社とも連携しつつ、歩行者・自転車に加えて、自動車への交通影響の視点から、御堂筋の道路空間再編に係る検討を支援してきました。今後、ICT を活用しつつ、歩行者・自転車通行の安全性や快適性等の道路空間のあり方、沿道エリアの活性化の検討・検証につなげる予定です。



現況  
(2018年)



側道歩行者  
空間化  
イメージ  
短中期目標



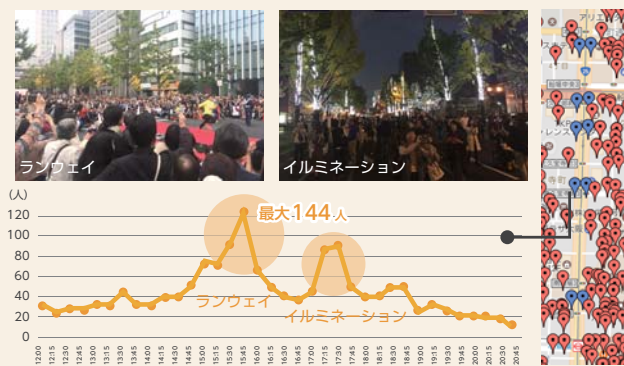
全面歩行者  
空間化  
イメージ  
長期目標

(出典：御堂筋将来ビジョン、御堂筋完成80周年記念事業推進委員会)

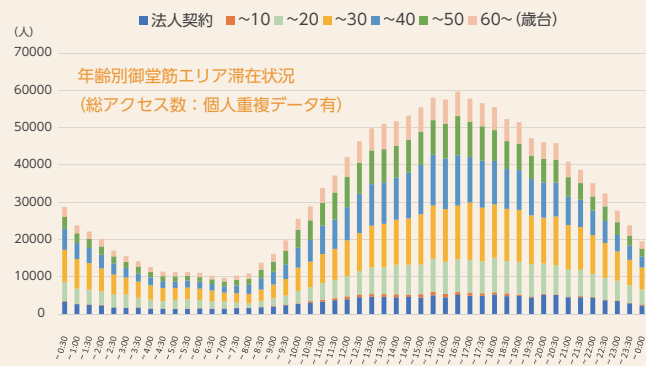
## IoT 関連技術を活用した道路空間のあり方検証に資する試行取組み (人流モニタリング)

### Wi-Fi ログを活用したイベント時の人流分析

ランウェイやイルミネーションの開催に合わせてアクセス数も増加し、イベント時のピーク移動を確認



イベント時の御堂筋エリア滞在者の年代は 30・40 代が中心で、イベント時のピーク滞在を確認



### Eco Counter による交通量の自動計測 自転車のホイールによって生じる磁気信号により自転車の通行台数をカウント (逆走する自転車も検知)

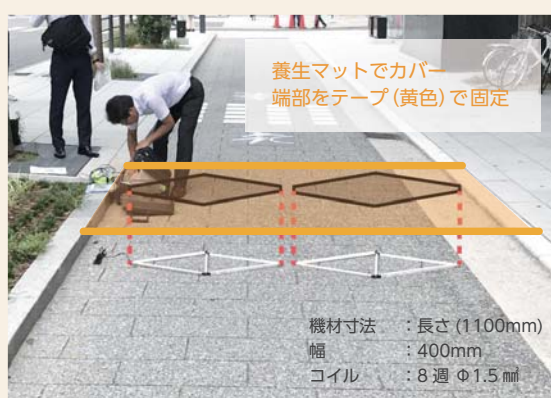
コイルセンサーによる自転車交通量の把握

- 養生マットによりカバー
- センサー脇で調査員が監視

カウントセンサー



施工イメージ



社会実験イベントにおける  
機器設置・観測風景  
(H29.11.05)